

防災システムの配置計画図



## (2) 景観系統の配置計画

### ① 湘南の風致と歴史文化を保全する緑の配置

- ・ 風致地区内及びその周辺一帯では、歴史と文化の薫る景観を形成するため、既存樹木の保全や、クロマツなど湘南の景観を代表する樹木の保護、育成につとめます。
- ・ 湘南海岸（片瀬海岸～辻堂海岸）は、多くの観光客、海水浴客などが訪れる場所であることから、地域の緑を活用し、明るい水辺の景観を形成します。
- ・ 「特別景観形成地区\*」に位置づけられている江の島は、豊かな自然環境を保全するとともに、景勝地として、景観の維持、保全につとめます。

### ② 地域の優れた景観を形成する緑の配置

- ・ 引地川、境川沿いの斜面林、相模野台地の崖線の緑、片瀬山の斜面林などは、地域の自然景観を構成する核となる緑であることから、保全につとめます。
- ・ 市中部、西北部に多く残されている農地とその周辺の屋敷林は、地域の景観を構成する重要な役割をもっているため、保全がなされるよう働きかけを行います。
- ・ 本市の地形的特性をよく表す谷戸の緑は、農地、樹林地と一体となって育まれた地域を代表する緑であることから、保全につとめます。
- ・ 公園緑地の整備や民間施設の緑化指導では、地域の植生を形成している樹木の導入を積極的にはかり、統一感のある街並みの形成につとめます。
- ・ 市内に点在する歴史ある社寺の緑を保全し、落ち着いた、潤いある景観の保全につとめます。

### ③ 市街地の景観を演出する緑の配置

- ・ 市民や観光客など多くの人の目にふれる駅前や幹線道路などでは良好な緑を確保して、市街地景観の向上をはかります。
- ・ 商業施設（特に商業地域や近隣商業地域内）では屋上や壁面などの建物緑化を促進し、四季を通じて緑豊かな市街地景観が形成されるように、指導につとめます。
- ・ 学校や公共施設の緑は、地域の良好な景観を形成する上で重要であり、既存の緑地の維持管理を含め、市民の緑化意識を誘導する緑地空間の形成をはかります。
- ・ 辻堂駅前の湘南C-X（シークロス）は、新しい広域連携都市拠点に相応しい景観創出をはかるための緑化を行います。
- ・ 美しい街並みを形成するために、主要な幹線道路を中心に、道路本来の機能を確保しつつ、緑化につとめます。

景観システムの配置計画図



### (3) 環境保全システムの配置計画

#### ① 快適な生活環境を保全する緑の配置

- ・大気の浄化や騒音を緩和するため、幹線道路の緑化につとめるとともに、国道・県道については管理する機関に対して、緑化を推進するよう働きかけます。
- ・引地川、境川は海からの風を市街地の中へ呼び込み、市街地の温度上昇の抑制や、ヒートアイランド現象を緩和する効果が期待できます。その効果をさらに高めるため、市街地の2つの河川沿いの緑化につとめます。
- ・市内に点在する斜面林、社寺林や屋敷林は、都市環境の快適性の確保、ヒートアイランド現象を緩和させる緑として重要であるため、保全につとめます。
- ・湘南海岸砂防林（飛砂防備保安林）をはじめとする海岸部の保安林は、生活環境を守り、潤いを与える緑として重要であり、神奈川県と連携し保全につとめます。
- ・密集した市街地など、緑の不足している地域では、既存の緑の保全はもちろん、住宅敷地内の緑化、生垣化の推進、屋上や壁面の緑化など、新たな緑の創出への取り組みを充実させます。
- ・工場、事業所の敷地においては、その周辺の都市環境の向上も含め、緑地の確保や緑化の推進について事業者へ働きかけ、質の高い緑地の維持・管理がなされるよう連携して取り組みます。

#### ② 生きものの生息環境を形成する緑の配置

- ・遊水地や河川などの水辺は、水生生物の生息・移動に大変重要であるため、多様な生きものが生息・生育できる空間として保全につとめるとともに、護岸の改修時などは水辺環境に配慮した工法を選択するよう管理者に働きかけます。
- ・引地川、境川沿いの斜面林は、水辺や周辺の農地と一体となって、生きものの生息環境を形成しているため、これらを一体として保全につとめます。
- ・市街地内に緑を点在させることは、生きものの移動の中継点として重要であるため、農地やその周辺の屋敷林を保全するよう働きかけます。また、学校や事業所などにおいては、新たな空間の確保をするためにビオトープの導入などを促します。また、線的な移動空間として重要となる街路樹についても、連続性が確保されるよう整備につとめます。
- ・周辺の山林、農地、水路が一体となって里地里山の環境を構成し、生きものの貴重な生息・生育空間となっている谷戸は、その地形及び周辺の土地利用を含め、一体的な保全がはかられるようにつとめます。

#### ③ 自然の水循環を支える緑の配置

- ・雨水の地下浸透の促進や、地表面からの緩やかな水分蒸発など、緑地のもつ機能はヒートアイランド現象の緩和や生きものの生息環境の保全の観点からも大変重要であるため、その配置についてもこれらの観点から総合的に配慮します。

環境保全システムの配置計画図



※本図では、主な箇所を表示しています。

#### (4) レクリエーションシステムの配置計画

##### ① 日常的なレクリエーションの場を形成する緑の配置

- ・市民が日常的に利用できる範囲（居住地から半径250m以内（徒歩5分程度））に公園などを1箇所以上配置することをめざします。
- ・密集市街地や市街化調整区域内で公園が不足している区域では、公園が配置されるまでの間、公園の代替施設となる緑の広場などの空間の確保につとめます。
- ・市民の健康増進のため、運動公園の整備を進めます。また、関係部署で連携をはかり、神奈川県立体育センターやスポーツ広場を有効に活用し、市民の健康増進の場の拡大につとめます。
- ・引地川、境川を日常の散策路として、下流から上流まで連続的に利用できるように関係機関と連携をはかりながら整備を進めます。

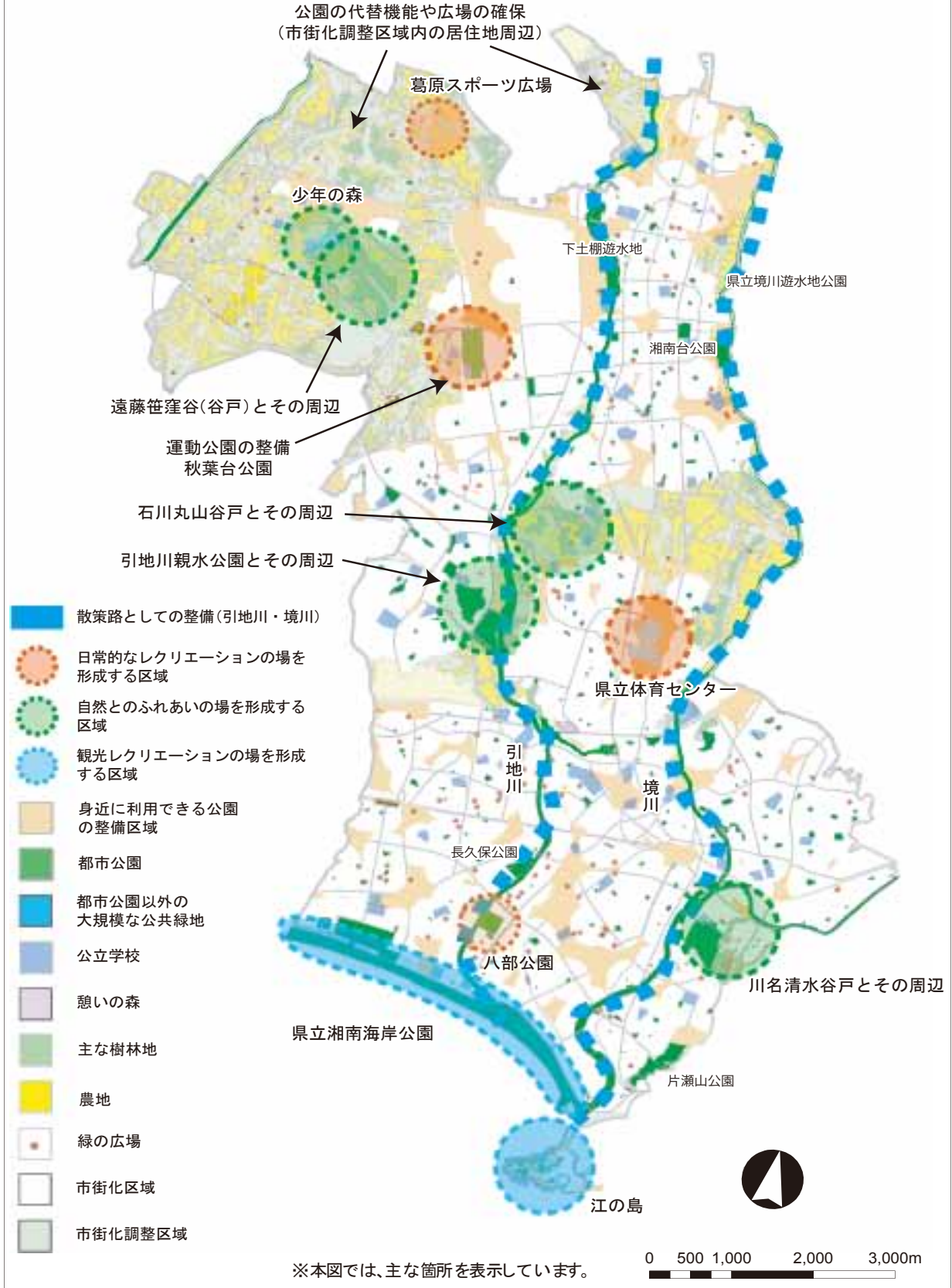
##### ② 自然とのふれあいの場を形成する緑の配置

- ・憩いの森は、貴重な緑地の保全手法の一つであることから、その普及につとめ、土地所有者との契約が継続されるように制度のあり方を検討します。
- ・豊かな自然の残る谷戸は、保全していくことを前提に、自然観察や自然との触れ合いの場としての利用について検討します。
- ・少年の森は、現状の利用をはかり、藤沢の自然環境（谷戸、農地、川及び湧水など）を総合的に体験学習できる機能を充実するように、整備につとめます。

##### ③ 観光レクリエーションの場を形成する緑の配置

- ・片瀬海岸西浜から茅ヶ崎市境まで続く湘南海岸公園（広域公園）は、本市を訪れる観光客にとって大きな魅力であり、湘南海岸としてふさわしい緑（花や街路樹など）の配置を含め、その魅力の向上について、神奈川県に働きかけていきます。
- ・県道451号（藤沢大和自転車道）は、大和市境から河口までの連続性の確保やその代替について、神奈川県に働きかけていきます。
- ・既設の都市公園での利便性の向上や魅力づくりについて、関係機関と調整し、実現に向けて検討します。
- ・観光施設周辺の商業施設などには、施設の一部を「緑を取り入れた公共空間的なスペース」として開放してもらえるように、働きかけを行います。

## レクリエーションシステムの配置計画図



## 公園紹介

公園名 引地川親水公園（地区公園）  
 公園面積 約16.2ha  
 所在地 大庭字中沢6, 510番  
 供用開始年月日  
 平成9年4月1日

### 概要

引地川親水公園は、良好な水辺空間の形成をはかるために、平成元年度に建設省の「ふるさとの川モデル事業」の指定を受け、河川改修事業と一体的に整備を行ったものです。

公園内には、気軽に自然とふれあうことができる湿性植物園や、藤棚、ツツジの丘、桜並木などがあり、市民などに親しまれています。

**引地川親水公園**

ようこそ、出会いの場へ。

〒470-0001 藤沢市役所まちづくりみどり推進課  
 Tel: 0466(25)1111  
 内線 4313~4317

球技広場の利用について  
 秋葉台運動広場事務所  
 Tel: 0466(88)1111

